

【既定】	耐震化の促進	予算額	826,056 千円
------	--------	-----	------------

### 事業の目的・概要

今後、発生が予測されている首都直下地震等に備えるため、杉並区耐震改修促進計画に基づき、計画的かつ総合的に、区内建築物の耐震化を促進します。

特に、緊急輸送道路沿道や木造住宅密集地域の建築物の耐震化に重点的に取り組み、地震に強い安全なまちづくりを進めます。



マンションの耐震改修

### 主な取組内容

#### ➤ 杉並区耐震改修促進計画の改定

令和 7 年度に改定される東京都耐震改修促進計画に合わせ、区内建築物の耐震化の進捗状況等から新たな目標と取組を設定し、更なる耐震化を促進するため、杉並区耐震改修促進計画を改定します。

#### ➤ 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進

緊急輸送道路沿道建築物については、所有者へ緊急輸送道路<sup>※1</sup>の役割や耐震化の必要性を説明したうえで、耐震診断助成や耐震改修等助成を周知・啓発し、耐震化を促進します。

※1 緊急輸送道路…震災時における避難、救急・救命活動、緊急物資の輸送及び復旧・復興活動を支える主要な幹線道路

#### ➤ 木造住宅等の耐震化促進 **拡充**

大規模地震から身を守り生活を継続するため、住宅の耐震化は重要です。過去の地震から、災害時に配慮が必要と考えられる障害者の方等が居住する木造住宅について、耐震改修助成額を加算するモデル事業を実施し、耐震化を促します。

また、昭和 56 年 5 月以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅に対する耐震改修助成限度額を引き上げるとともに、木造住宅密集地域では、不燃化事業と連携した除却助成も引き続き実施し、耐震化・不燃化を促進します。

さらに地震による倒壊等の被害を少なくするため、昭和 56 年 6 月から平成 12 年 5 月以前までに建てられた新耐震基準のうち、一定の要件を満たす木造住宅についても、耐震改修助成限度額を引上げ、より安全・安心なまちづくりを進めます。

#### ➤ 耐震シェルター等設置助成

地震発生時の建物倒壊から命を守るため、耐震シェルター等の設置に係る費用の一部を助成します。

#### ➤ 耐震化の必要性の周知・啓発

建物所有者に耐震化の必要性和助成制度の周知のため、木造住宅への案内チラシのポスティングを実施するとともに、希望される方には戸別訪問を行い、説明します。